

令和元年6月27日

川西市議会議長

大矢根 秀 明 様

厚生文教常任委員長

平 岡 讓

委 員 会 報 告 書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、別紙のとおり決定したので、会議規則第101条の規定により報告します。

厚生文教常任委員会における審査の経過と結果について（審査日：令和元年6月19日）

1. 議案第50号 川西市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案の概要
本案は、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」及び「災害弔慰金の支給に関する法律施行令の一部を改正する政令」の制定に伴い、貸付利率の引下げや償還方法の追加等をするため、条例の一部を改正しようとするもの。
質疑の概要
問 平成31年3月31日以前の貸付については、「従前の例による」として経過措置を設けているが、この対象人数を伺いたい。
答 阪神・淡路大震災の際に、810件の貸付実績がある。
特記事項 なし
審査結果 原案可決（全員賛成）

2. 議案第51号 川西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

議案の概要
本案は、「介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令の一部を改正する政令」の制定等に伴い、低所得者の保険料について、軽減割合を引き上げるとともに、対象者を拡大等するため、条例の一部を改正しようとするもの。
質疑の概要
問 本案は、本年10月の消費税率引き上げに伴う国による低所得者対策拡充の一環とすることであるが、川西市の被保険者数及び軽減対象者の割合を伺いたい。
答 平成30年4月1日時点における被保険者数は4万8825人であり、今回拡充となる保険料区分の第1段階から第3段階の割合は全体の約30%である。
特記事項 配付資料あり（川西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について）
審査結果 原案可決（全員賛成）

3. 議案第52号 川西市立幼保連携型認定こども園条例の一部を改正する条例の制定について

議案の概要

本案は、川西市立川西幼稚園と川西市立川西保育所を統合し、新たに幼保連携型認定こども園として「川西市立川西こども園」を設置するため、条例の一部を改正しようとするもの。

質疑の概要

問 幼保一体化施設では、幼稚園と保育所に係る所管省庁や根拠法令が異なることなどにより、運営が難しい面もあると思われるが、今回の川西幼稚園と川西保育所の統合に際し、課題やその対応策があれば伺いたい。

答 現在は統合に向けて所長・園長を交えた検討会議を開催しており、統合後を想定して、午前中はクラスごとで保育し、午後はそれぞれの入所児童に応じた保育体制とするなど、開設後のスムーズな移行に向けて、現段階から試行的な取り組みを進めている状況である。

問 同園は市立川西小学校の敷地内に整備するため、現在、工事が進められているが、安全上の問題はなく進捗しているのか伺いたい。

答 工事は小学生の通学路と重なるが、南側から通学する児童はグラウンド東側の階段を通るよう変更しているほか、工事車両の入口にはガードマンを配置しており、今のところ問題は生じていない。

問 開園後は、こども園保護者の送迎車両により、小学校正門側の交通量増加が懸念されるが、この対策について伺いたい。

答 こども園の送迎も小学校の正門を利用するため、車と歩行者が分離するよう対策を講じる予定としており、具体的な方法については安全面を考慮して今後検討していきたいと考えている。

特記事項 なし

審査結果 原案可決（全員賛成）

4. 議案第55号 令和元年度川西市一般会計補正予算（第1回）

議案の概要

第1表 歳出第3款民生費。

質疑の概要

(1) 第1表 歳出

① 第3款 民生費

問 障害者総合支援事業の委託料で230万2000円、保育所運営事業の委託料で1336万9000円がそれぞれ追加計上されており、いずれも幼児教育無償化に伴う電算システムの改修費用ということであるが、具体的な改修内容について伺いたい。

答 基本的にはソフトの改修費用であるが、申請書を読み取るOCR機器等の導入費用を含めた補正額となっている。

問 システム改修は随意契約とのことであるが、それだけに費用の積算には精度が求められることから、今回、注力した点があれば伺いたい。

答 改修費用の積算に当たっては、国による制度改正の詳細が明らかになった時点で、当初想定していなかったカスタマイズ作業が2.5倍となり、システムエンジニアの作業量が1000時間分増加することが判明したため、業者が的確に積算していることを確認している。また、本市は全国で208の自治体がユーザーとなっている大手企業のシステムを使用しているため、共通で利用できる部分についてはコストダウンが図られているものと認識している。

問 幼児教育無償化に伴い、障がい児通所施設の利用者負担金が無償化されるとのことであるが、この対象者数を伺いたい。

答 基本的に0歳から5歳の未就学児は290人であり、そのうち無償化の対象となる3歳児から5歳児は232人である。

問 保育所運営事業において無償化に対応するための賃金として311万2000円を追加しようとしているが、臨時職員として想定している雇用期間など詳細を伺いたい。

答 事務補助として週4日勤務で2名を採用する予定であり、今年度は7月から3月末までの期間を予定している。事務費に対する国庫補助は今年度と来年度の2年間となっているため、来年度以降については、今年度の状況を踏まえて検討したい。

特記事項 なし

審査結果 原案可決（全員賛成）

5. 議案第56号 令和元年度川西市介護保険事業特別会計補正予算（第1回）

議案の概要

消費増税に伴う低所得者世帯に属する第1号被保険者の保険料軽減強化に係る保険料を減額し、その財源として、一般会計繰入金を増額しようとするもの

質疑の概要

問 本案では、低所得者の保険料軽減強化に係るシステム改修費用が計上されていないが、あらかじめ想定し予算に盛り込んでいたのか。

答 今回の軽減強化は国の政令改正が本年3月末だったため、条例改正は今期定例会で提案しているが、実施自体は以前から予定されていたため、システムは当初から対応を想定していたものである。

特記事項 なし

審査結果 原案可決（全員賛成）

6. 請願第5号 公立夜間中学校の受け入れ体制の充実を求める請願書

請願の趣旨

現在、兵庫県内においては、公立夜間中学校が神戸市2校と尼崎市1校の計3校設置されている。しかし、「入学資格は市内在住者・在勤者のみ」という入学要件があり、川西市の義務教育未修了者全員が入学できる制度ではなく、法律が守られていない現状がある。

そのため、川西市をはじめとする近隣各市では、門戸拡大を求める一方、尼崎市に対して学校運営費の応分の負担をしていく方向で調整が進められているが、尼崎市立成良中学校琴城分校には事務職員が配置されておらず、他市が学校運営にかかる費用の分担を行ったとしても、さらなる他市在住者の入学希望者受け入れに係る事務作業が対応できないため、入学要件の変更が難しい状況となっている。

よって、市民の誰もが憲法で保障された教育を受ける権利を行使でき、学び直す権利をも享受できるよう、兵庫県教育委員会へ意見書の提出を求める。

特記事項 請願者より請願書取下げ申出書の提出あり

審査結果 取下げを承認（全員賛成）